

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5
交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

道路維持課長 大賀隆宏

電話番号

0852-22-5187

事務事業の名称	安全な歩行・走行のための道路整備事業（第二種一道路附属物）	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	より安全で快適に道路を歩行・走行できるようにする。
事業概要	道路利用者がより安全で快適に道路を通行できるよう、道路附属物の整備を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	防護柵整備率	目標値		31.2	31.9	32.7	33.7	%
	式・定義	累計整備延長/全体計画延長（373.3km）	取組目標値						
			実績値	30.5	30.7	30.9			
			達成率	-	98.4	96.9	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	207,481	210,197
うち一般財源 (千円)	7,351	7,098

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成19年に策定した「車両防護柵整備方針」（以下、「整備方針」という。）に沿って、防護柵（ガードレール）の整備を計画的に行っている。整備方針は、整備予定箇所を危険性から3段階に優先順位（注）付けし、危険性の高い優先順位1から優先的に整備するものであり、予算実績より目標値を設定。平成29年度防護柵（ガードレール）整備状況：

優先順位1	計画延長 7.5km	整備済延長 6.1km	整備率 81%（内、H29年度整備0.1km）	（注）優先順位は旅行速度、交通量、鉄道等へ逸脱した場合の社会的影響等を勘案して点数化
優先順位2	計画延長 115.8km	整備済延長 63.0km	整備率 54%（内、H29年度整備0.2km）	
優先順位3	計画延長 250.0km	整備済延長 46.2km	整備率 18%（内、H29年度整備0.3km）	
合計	計画延長 373.3km	整備済延長 115.3km	整備率 31%（内、H29年度整備0.6km）	

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の交通事故は発生件数、死者数、負傷者数ともに減少傾向にあり、道路附属物の整備による効果も認められる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

防護柵（ガードレール）の整備は、整備方針により整備を進めているが、整備目標に達していない状況。

②困っている状況が発生している「原因」

- 道路幅員狭小などの道路構造上の問題により防護柵が設置不可能箇所があること。
- 優先整備箇所以外において発生した交通事故に係る対策を並行して行っていること。
- 限られた予算の中でその他の道路附属物（区画線、標識整備等）とも並行して整備を行っていること。

③原因を解消するための「課題」

- 防護柵設置不可能箇所である道路幅員狭小区間における道路改良計画との連携。
- 事故発生件数減少に向けた交通管理者との連携。
- 道路附属物整備に係る予算の確保。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 道路改良事業と調整・連携して優先整備箇所の進捗を図る。
- 事故危険箇所における注意喚起など交通管理者と連携したソフト施策等も含めた交通事故減少対策を実施するとともに、必要な予算を要求・確保することで、確実な優先整備箇所の整備促進に繋げる。